

お知らせ

令和元年10月4日低気圧に伴う降雨による出水により
やぎさわ ぼうさいそうさ
矢木沢ダムは、防災操作（洪水調節）を行いました。

防災操作により矢木沢ダムに全量を貯留（約122万 m^3 ）

矢木沢ダム流域では、10月4日15時から5日5時までの累計で、
53.6mmの降雨量を観測しました。

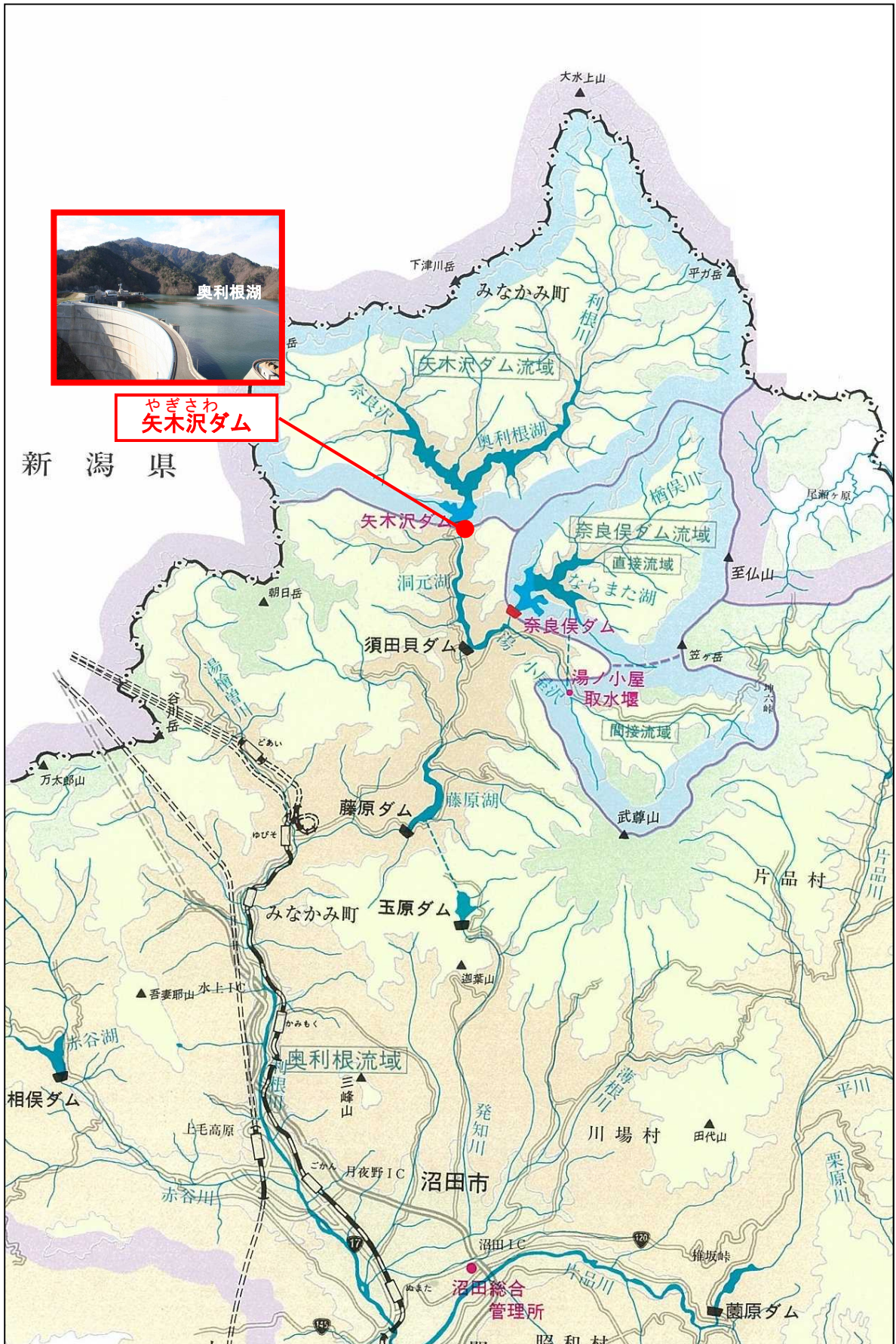
この降雨によって、矢木沢ダムへの流入量が増えたことにより、
4日22時20分に流入量が洪水量（毎秒100立方メートル）に達し
たため、防災操作（洪水調節）を実施し、ダムに約122万立方メー
トルを貯留しました。

今後も、矢木沢ダムでは適切に防災操作（洪水調節）を実施し、下流
地域の洪水被害の防止・軽減に努めてまいります。

※防災操作（洪水調節）とは、降雨等によりダムに流れ込む水の一部を
ダムに一時的に貯め込んで、ダムから下流に流れ出す量を減らし、下流
の川の水位を低減させることです。

注）数値は速報値です。

■位置図



■ 矢木沢ダムの防災操作の状況図

